

解 禁 日 時	
新 聞	平成30年8月1日 朝刊
テレビ・ラジオ・インターネット	平成30年7月31日 午後5時以降

## 報 道 資 料

年月日 平成30年7月31日 (火)  
 担当課 学校教育課  
 担当者 義務教育係 垣内 宏志  
 富倉 勇  
 TEL 直通 0742-27-9854 内線 5364

(タイトル)

平成30年度全国学力・学習状況調査の調査結果の概要について

(趣 旨)

平成30年4月17日(火)に実施された全国学力・学習状況調査における調査結果の概要と今後の県の対応について、お知らせする。

### 1 調査の概要

- (1) 実施日 平成30年4月17日(火)
- (2) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒
- (3) 調査内容
  - ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
    - ・国語A、算数・数学A:主として「知識」に関する問題
    - ・国語B、算数・数学B:主として「活用」に関する問題
    - ・理科:主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題
  - ② 質問紙調査
    - ・児童生徒に対する調査
    - ・学校に対する調査
- (4) 参加状況(全国で公立小学校19,433校、公立中学校9,630校が4月17日に調査を実施)

○本県(公立)

	参加校	17日実施校	後日実施校
小学校	194	194	0
中学校	103	103	0
特別支援学校(小学部)	1	1	0
特別支援学校(中学部)	1	1	0

### 2 教科に関する調査結果の概要

(上段:平均正答数 下段:平均正答率(%))

	国語A				国語B			
	平成30年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	8.5/12 70.7	8.3/12 69	11.2/15 74.8	11.0/15 74	4.4/8 54.7	4.3/8 53	5.2/9 57.5	5.1/9 56
中学校	24.3/32 76.1	24.2/32 76	24.8/32 77.4	24.8/32 78	5.5/9 61.2	5.4/9 60	6.5/9 72.2	6.4/9 72

	算数・数学A				算数・数学B			
	平成30年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	8.9/14 63.5	8.8/14 63	11.8/15 78.6	11.7/15 78	5.1/10 51.5	5.0/10 50	5.1/11 45.9	5.0/11 45
中学校	23.8/36 66.1	23.8/36 66	23.3/36 64.6	23.4/36 65	6.6/14 46.9	6.5/14 46	7.2/15 48.1	7.2/15 48

	理 科			
	平成30年度		平成27年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	9.6/16 60.3	9.5/16 59	14.6/24 60.8	14.4/24 60.0
中学校	17.9/27 66.1	17.3/27 64	13.3/25 53.0	12.9/25 51.5

※平成29年度から、国からの各都道府県別の平均正答率の提供が整数値となったため、平成30年度の奈良県の平均正答率は整数値で示しています。

小学校においては、国語A、国語B、算数A、算数B、理科の全ての調査において、全国平均正答数を0.1から0.2ポイント下回っている。

中学校においては、全国平均正答数に比べて、国語A、国語B、数学A、数学Bで同ポイント又は0.1ポイント下回っており、理科では0.6ポイント下回っている。

文部科学省によると、各教科の課題として、例えば、以下のようなものが挙げられている。

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめたり、複数の資料の内容を関係付けて理解したり、表現したりすることに課題がある。〈小学校国語〉
- 小数の除法の意味についての理解や、グラフから読み取ったことに基づいて適切に判断することに課題がある。〈小学校算数〉
- 観察・実験の結果を整理し分析して考察した内容を記述することや、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基により妥当な考えに改善し、その内容を記述することに課題がある。〈小学校理科〉
- 目的に応じて文章を読む際などに、情報を整理して内容を的確に捉えることに課題がある。〈中学校国語〉
- 数学的な結果を事象に即して解釈することを通して、成り立つ事柄を判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。〈中学校数学〉
- 実験や条件制御などにおいて自分や他者の考えを検討して改善することや、自然の事物・現象に含まれる要因を抽出して整理し、条件を制御して実験を計画することに課題がある。〈中学校理科〉

### 3 質問紙調査について

文部科学省によると、全国の調査結果を、以下のように分析している。

#### 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

- 児童生徒質問紙調査において、「学級の友達と〔生徒〕の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」との質問に肯定的に回答した児童生徒は、平均正答率が高い傾向が見られた。
- 学校質問紙調査において、「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか」との質問に、肯定的に回答した小・中学校では、平均正答率が高い傾向が見られた。

#### 児童生徒の自己肯定感に関する状況

- 児童生徒質問紙調査において、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問に肯定的に答えた児童生徒の割合は、平成26年度以降、増加傾向が見られた。ただし、平成30年度は、平成29年度に比べて、「当てはまる」と回答した児童の割合が減少している。
- 学校質問紙調査において、「学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか」との質問に肯定的に回答した小・中学校の割合について、平成30年度は増加しており、9割を超えている。

#### 学校運営に関する取組状況

- 学校質問紙調査において、「学校として業務改善に取り組んでいますか」との質問（平成30年度新規）に肯定的に回答した小・中学校の割合は、9割を超えている。
- 学校質問紙調査において、「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図るPDCAサイクルを確立していますか」との質問に肯定的に回答した小・中学校では、平均正答率が高い傾向が見られた。

### 4 今後の本県での取組

- ・全国及び奈良県学力・学習状況調査の結果を活用した指導改善について、8月下旬に市町村教育委員会担当者、10月に各小・中学校教員を対象に説明会を実施する予定。
- ・全国及び奈良県学力・学習状況調査結果に見られる本県の課題改善に向けて、6月に設置した学力向上実践研究推進協議会（委員長 小柳和喜雄 奈良教育大学教授 ほか15人）において協議した指定校の取組等を、2月に開催予定の学力向上フォーラムで紹介する予定。

## ○ 小学校国語の調査結果

国語Aについては、全国の平均正答数は12問中8.5問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.2ポイント下回っている。また、国語Bについては、全国の平均正答数は8問中4.4問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

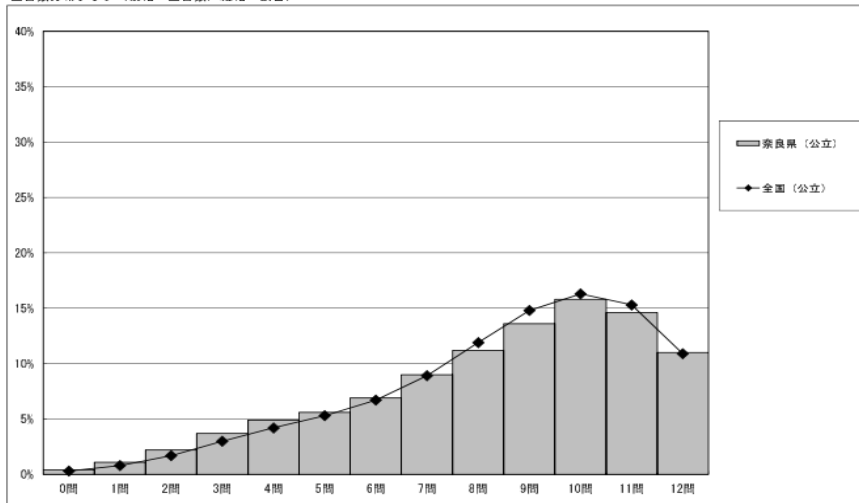
- ・主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと。
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめたり、複数の資料の内容を関係付けて理解したり、表現したりすること。

### 平成30年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況 [国語A：主として知識] 奈良県一児童（公立） 小学校調査

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	11,049	8.3 / 12	69	9.0	2.8
全国（公立）	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		
	児童数	割合 (%)	
	奈良県 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)
12問	1,214	11.0	10.9
11問	1,614	14.6	15.3
10問	1,751	15.8	16.3
9問	1,499	13.6	14.8
8問	1,237	11.2	11.9
7問	999	9.0	8.9
6問	758	6.9	6.7
5問	623	5.6	5.3
4問	539	4.9	4.2
3問	405	3.7	3.0
2問	239	2.2	1.7
1問	124	1.1	0.8
0問	47	0.4	0.3

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

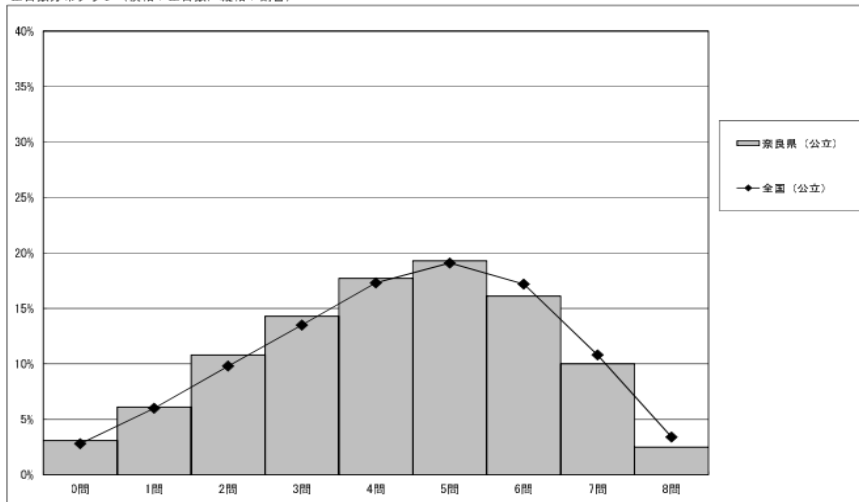
	奈良県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問

### 平成30年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況 [国語B：主として活用] 奈良県一児童（公立） 小学校調査

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	11,042	4.3 / 8	53	4.0	1.9
全国（公立）	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		
	児童数	割合 (%)	
	奈良県 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)
8問	278	2.5	3.4
7問	1,109	10.0	10.8
6問	1,779	16.1	17.2
5問	2,131	19.3	19.1
4問	1,986	17.7	17.3
3問	1,583	14.3	13.5
2問	1,190	10.8	9.8
1問	670	6.1	6.0
0問	346	3.1	2.8

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	6.0問	6.0問
◇ 第2四分位	4.0問	5.0問
▽ 第1四分位	3.0問	3.0問

## ○ 小学校算数の調査結果

算数Aについては、全国の平均正答数は14問中8.9問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。また、算数Bについては、全国の平均正答数は10問中5.1問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・ 小数の除法の意味についての理解や、グラフから読み取ったことに基づいて適切に判断すること。
- ・ 日常生活の事象を、数量を関連付け、根拠を明確にして記述すること。

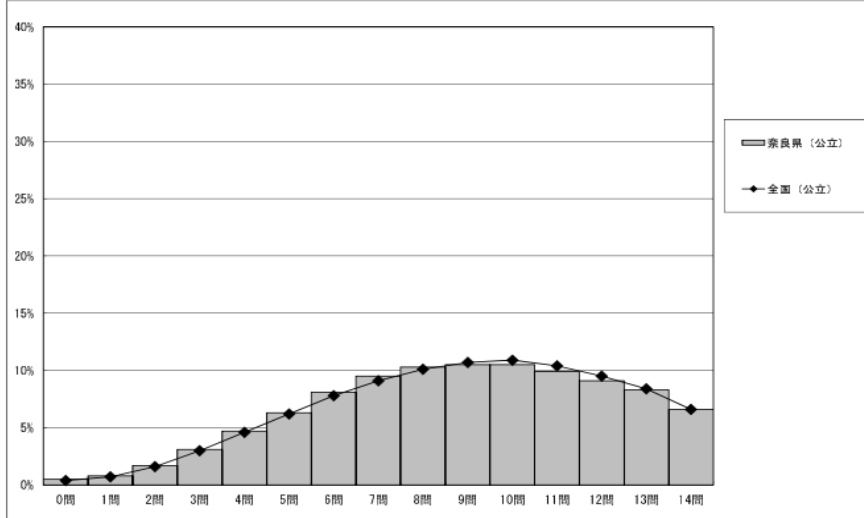
### 平成30年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況 【算数A：主として知識】 奈良県一児童（公立）

小学校調査

・ 以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	11,046	8.8 / 14	63	9.0	3.2
全国（公立）	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		
	児童数 奈良県 （公立）	割合(%) 奈良県 （公立） 全国 （公立）	
14問	731	6.6	6.6
13問	918	8.3	8.4
12問	1,010	9.1	9.5
11問	1,097	9.9	10.4
10問	1,155	10.5	10.9
9問	1,163	10.5	10.7
8問	1,137	10.3	10.1
7問	1,051	9.5	9.1
6問	892	8.1	7.8
5問	697	6.3	6.2
4問	524	4.7	4.6
3問	338	3.1	3.0
2問	192	1.7	1.6
1問	90	0.8	0.7
0問	51	0.5	0.4

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県 （公立）	全国 （公立）
△ 第3四分位	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問
▽ 第1四分位	6.0問	7.0問

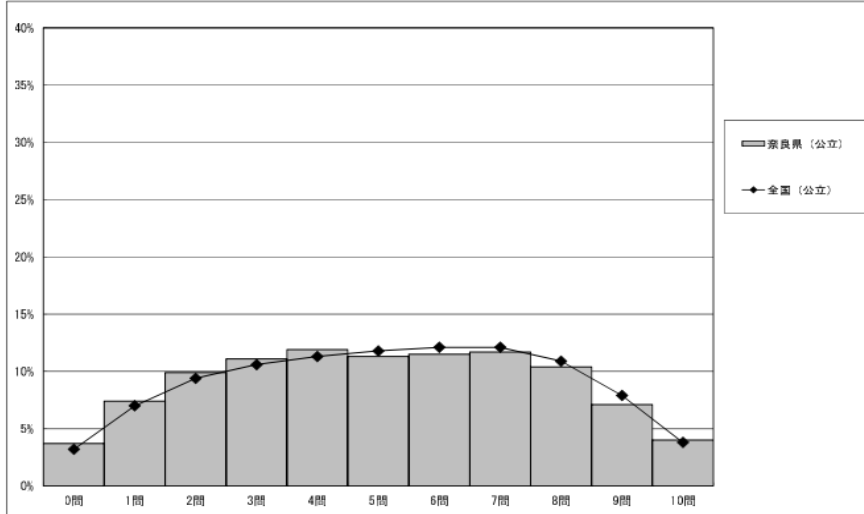
### 平成30年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況 【算数B：主として活用】 奈良県一児童（公立）

小学校調査

・ 以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	11,038	5.0 / 10	50	5.0	2.7
全国（公立）	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		
	児童数 奈良県 （公立）	割合(%) 奈良県 （公立） 全国 （公立）	
10問	438	4.0	3.8
9問	781	7.1	7.9
8問	1,152	10.4	10.9
7問	1,288	11.7	12.1
6問	1,273	11.5	12.1
5問	1,250	11.3	11.8
4問	1,318	11.9	11.3
3問	1,224	11.1	10.6
2問	1,092	9.9	9.4
1問	812	7.4	7.0
0問	410	3.7	3.2

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県 （公立）	全国 （公立）
△ 第3四分位	7.0問	7.0問
◇ 第2四分位	5.0問	5.0問
▽ 第1四分位	3.0問	3.0問

## ○ 小学校理科の調査結果

理科については、全国の平均正答数は16問中9.6問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・ 観察・実験の結果を整理し分析して考察した内容を記述すること。
- ・ 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基により妥当な考えに改善し、その内容を記述したりすること。

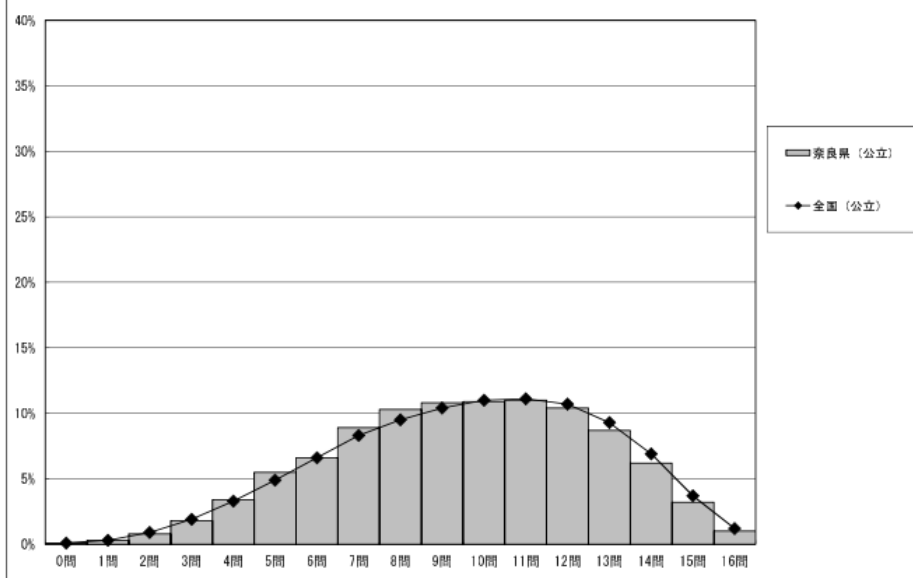
平成30年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [理科]  
奈良県—児童（公立）

小学校調査

・ 以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	11,061	9.5 / 16	59	10.0	3.2
全国（公立）	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		
	児童数	割合 (%)	
	奈良県 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)
16問	116	1.0	1.2
15問	359	3.2	3.7
14問	688	6.2	6.9
13問	959	8.7	9.3
△ 12問	1,151	10.4	10.7
11問	1,213	11.0	11.1
◇ 10問	1,204	10.9	11.0
9問	1,200	10.8	10.4
8問	1,138	10.3	9.5
▽ 7問	989	8.9	8.3
6問	735	6.6	6.6
5問	606	5.5	4.9
4問	379	3.4	3.3
3問	195	1.8	1.9
2問	84	0.8	0.9
1問	32	0.3	0.3
0問	13	0.1	0.1

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問

# ○ 中学校国語の調査結果

国語Aについては、全国の平均正答数は32問中24.3問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。また、国語Bについては、全国の平均正答数は9問中5.5問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

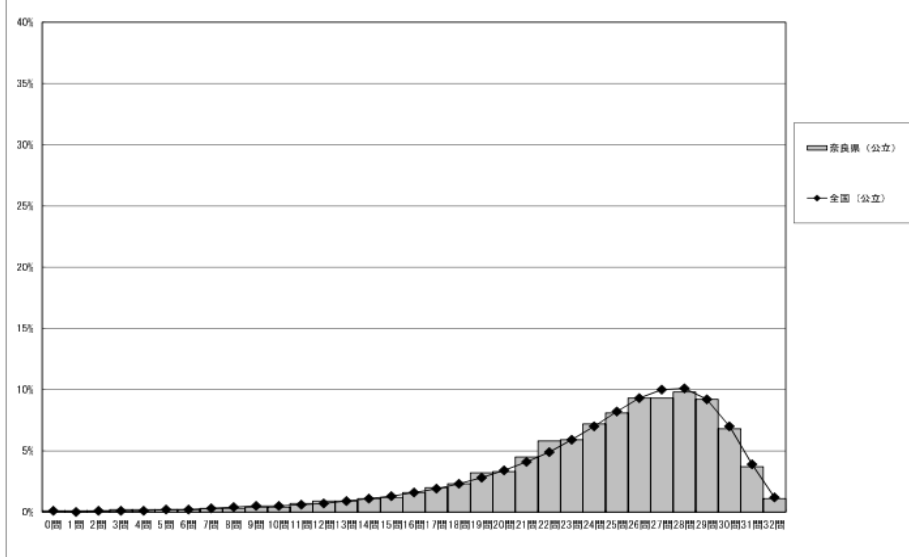
- ・ 目的に応じて文章を読む際に、情報を整理して内容を的確に捉えること。
- ・ 文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと。

平成30年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況【国語A：主として知識】 奈良県一生徒（公立） 中学校調査

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	10,420	24.2 / 32	76	25.0	5.3
全国（公立）	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		割合 (%)
	生徒数	割合 (%)	
	奈良県 (公立)	全国 (公立)	
32問	117	1.1	1.2
31問	386	3.7	3.9
30問	708	6.8	7.0
29問	954	9.2	9.2
28問	1,018	9.8	10.1
27問	966	9.3	10.0
26問	971	9.3	9.3
25問	840	8.1	8.2
24問	746	7.2	7.0
23問	611	5.9	5.9
22問	600	5.8	4.9
21問	471	4.5	4.1
20問	349	3.3	3.4
19問	333	3.2	2.8
18問	236	2.3	2.3
17問	209	2.0	1.9
16問	168	1.6	1.6
15問	128	1.2	1.3
14問	112	1.1	1.1
13問	89	0.9	0.9
12問	92	0.9	0.7
11問	72	0.7	0.6
10問	43	0.4	0.5
9問	38	0.4	0.5
8問	31	0.3	0.4
7問	28	0.3	0.3
6問	22	0.2	0.2
5問	20	0.2	0.2
4問	23	0.2	0.1
3問	17	0.2	0.1
2問	9	0.1	0.1
1問	7	0.1	0.0
0問	7	0.1	0.1

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

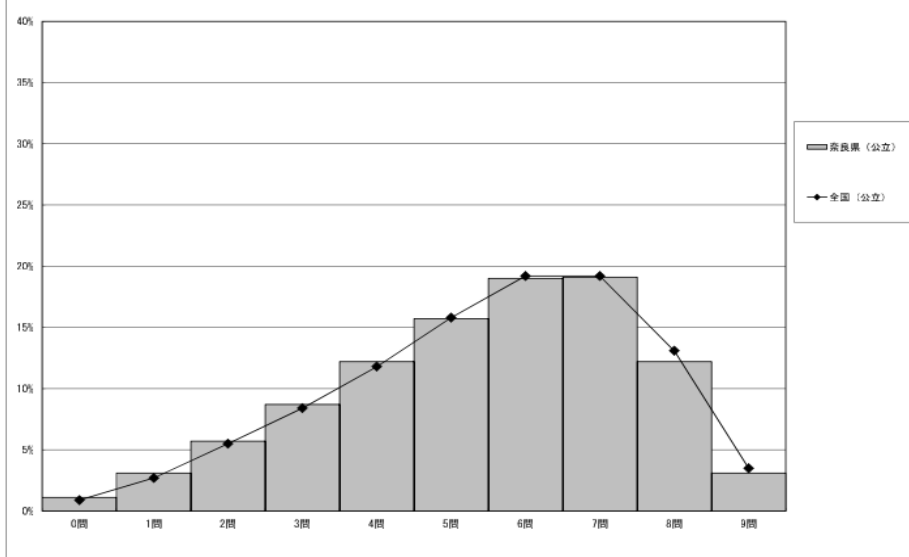
	奈良県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	28.0問	28.0問
◇ 第2四分位	25.0問	26.0問
▽ 第1四分位	22.0問	22.0問

平成30年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況【国語B：主として活用】 奈良県一生徒（公立） 中学校調査

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	10,427	5.4 / 9	60	6.0	2.0
全国（公立）	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		割合 (%)
	生徒数	割合 (%)	
	奈良県 (公立)	全国 (公立)	
9問	321	3.1	3.5
8問	1,373	12.2	13.1
7問	1,991	19.1	19.2
6問	1,977	19.0	19.2
5問	1,641	15.7	15.8
4問	1,277	12.2	11.8
3問	906	8.7	8.4
2問	599	5.7	5.5
1問	326	3.1	2.7
0問	116	1.1	0.9

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	7.0問	7.0問
◇ 第2四分位	6.0問	6.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問

# ○ 中学校数学の調査結果

数学Aについては、全国の平均正答数は36問中23.8問で、本県の平均正答数は、全国と同じである。また、数学Bについては、全国の平均正答数は14問中6.6問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

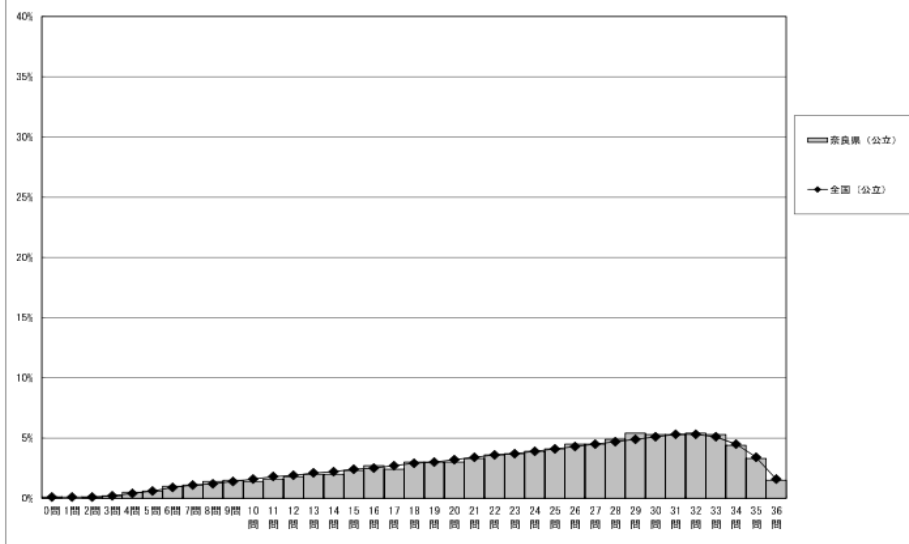
- ・ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。
- ・ 数学的な結果を事象に即して解釈することを通して、成り立つ事柄を判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明すること。

## 平成30年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況 [数学A：主として知識] 奈良県一生徒（公立） 中学校調査

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	10,437	23.8 / 36	66	25.0	8.1
全国（公立）	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		全国（公立）
	生徒数	割合 (%)	
36問	153	1.5	1.6
35問	340	3.3	3.4
34問	456	4.4	4.5
33問	551	5.3	5.1
32問	560	5.4	5.3
31問	549	5.3	5.3
30問	548	5.3	5.1
29問	562	5.4	4.9
28問	509	4.9	4.7
27問	474	4.5	4.5
26問	463	4.5	4.3
25問	425	4.1	4.1
24問	411	3.9	3.9
23問	384	3.7	3.7
22問	373	3.6	3.6
21問	342	3.3	3.4
20問	309	3.0	3.2
19問	312	3.0	3.0
18問	312	3.0	2.9
17問	252	2.4	2.7
16問	287	2.7	2.5
15問	236	2.3	2.4
14問	208	2.0	2.2
13問	213	2.0	2.1
12問	162	1.5	1.9
11問	164	1.6	1.8
10問	149	1.4	1.6
9問	157	1.5	1.4
8問	150	1.4	1.2
7問	118	1.1	1.1
6問	108	1.0	0.9
5問	62	0.6	0.6
4問	57	0.5	0.4
3問	23	0.2	0.2
2問	12	0.1	0.1
1問	5	0.0	0.1
0問	9	0.1	0.1

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

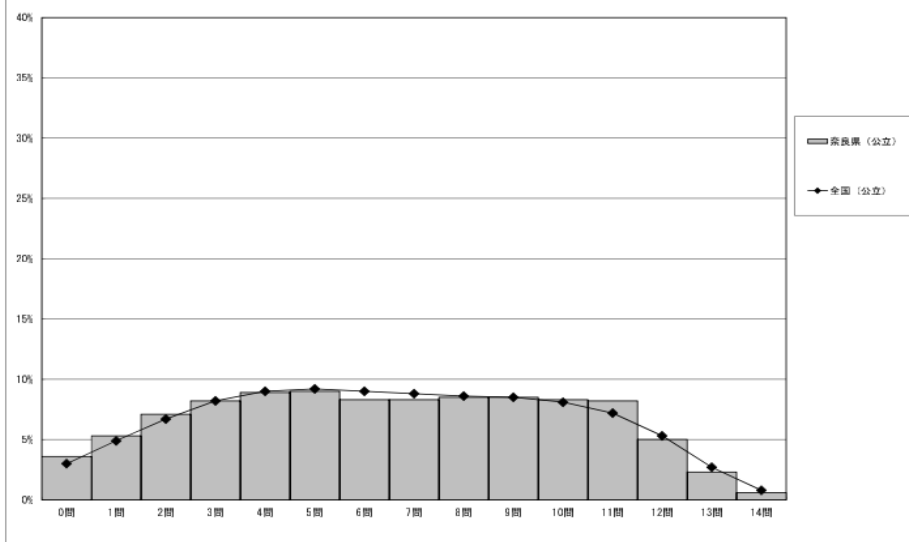
	奈良県（公立）	全国（公立）
△ 第3四分位	30.0問	31.0問
◇ 第2四分位	25.0問	25.0問
▽ 第1四分位	18.0問	18.0問

## 平成30年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況 [数学B：主として活用] 奈良県一生徒（公立） 中学校調査

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	10,435	6.5 / 14	46	6.0	3.6
全国（公立）	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		全国（公立）
	生徒数	割合 (%)	
14問	60	0.6	0.8
13問	239	2.3	2.7
12問	522	5.0	5.3
11問	852	8.2	7.2
10問	871	8.3	8.1
9問	882	8.5	8.5
8問	889	8.5	8.6
7問	861	8.3	8.8
6問	870	8.3	9.0
5問	942	9.0	9.2
4問	927	8.9	9.0
3問	851	8.2	8.2
2問	739	7.1	6.7
1問	556	5.3	4.9
0問	374	3.6	3.0

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県（公立）	全国（公立）
△ 第3四分位	9.0問	9.0問
◇ 第2四分位	6.0問	7.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問

## ○ 中学校理科の調査結果

理科については、全国の平均正答数は27問中17.9問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.6ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・実験や条件制御などにおいて、自分や他者の考えを検討して改善すること。
- ・自然の事物・現象に含まれる要因を抽出して整理し、条件を制御して実験を計画すること。

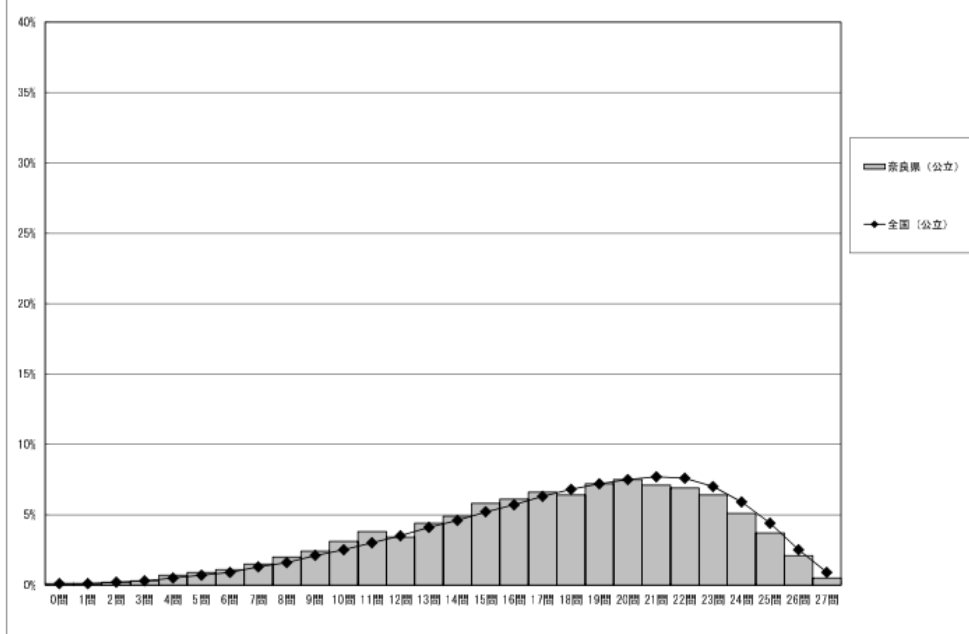
平成30年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況【理科】  
奈良県一生徒（公立）

中学校調査

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	10,445	17.3 / 27	64	18.0	5.3
全国（公立）	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		
	生徒数	割合(%)	
	奈良県 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)
27問	49	0.5	0.9
26問	216	2.1	2.5
25問	382	3.7	4.4
24問	530	5.1	5.9
23問	665	6.4	7.0
22問	718	6.9	7.6
21問	745	7.1	7.7
20問	779	7.5	7.5
19問	747	7.2	7.2
18問	673	6.4	6.8
17問	690	6.6	6.3
16問	638	6.1	5.7
15問	604	5.8	5.2
14問	516	4.9	4.6
13問	461	4.4	4.1
12問	357	3.4	3.5
11問	397	3.8	3.0
10問	322	3.1	2.5
9問	246	2.4	2.1
8問	207	2.0	1.6
7問	156	1.5	1.3
6問	111	1.1	0.9
5問	89	0.9	0.7
4問	72	0.7	0.5
3問	31	0.3	0.3
2問	25	0.2	0.2
1問	7	0.1	0.1
0問	12	0.1	0.1

※今回の調査での百分位は以下の通りでした。

	奈良県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	21.0問	22.0問
◇ 第2四分位	18.0問	19.0問
▽ 第1四分位	14.0問	14.0問



# 児童生徒質問紙調査の結果(抜粋)

前回調査より上昇

## ○学習に対する関心・意欲・時間等

質問		奈良県	全国	差	県29	県28	県27	県26
算数・数学の勉強は好きですか (好き、どちらかといえば好き)	小	60.2	64.0	-3.8	63.9	63.2	62.8	62.0
	中	49.9	53.9	-4.0	54.6	53.6	53.2	53.3
算数・数学の勉強は大切だと思いますか (思う、どちらかといえばそう思う)	小	91.9	92.1	-0.2	91.3	91.4	92.3	91.8
	中	78.6	83.6	-5.0	77.7	76.2	79.0	78.9
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか (分かる、どちらかといえば分かる)	小	83.1	83.4	-0.3	80.6	79.8	79.9	79.3
	中	71.4	71.0	0.4	70.9	70.7	72.7	72.5
算数・数学の授業で学習したことは、将来、役に立つと思いますか (思う、どちらかといえばそう思う)	小	91.0	90.3	0.7	87.9	88.8	90.1	88.5
	中	66.9	72.9	-6.0	67.7	65.9	66.7	66.5
理科の勉強は好きですか (好き、どちらかといえば好き)	小	80.3	83.5	-3.2	—	—	81.9	—
	中	55.5	62.9	-7.4	—	—	56.6	—
理科の勉強は大切だと思いますか (思う、どちらかといえばそう思う)	小	82.9	85.4	-2.5	—	—	85.3	—
	中	63.6	70.6	-7.0	—	—	63.6	—
理科の授業の内容はよく分かりますか (分かる、どちらかといえば分かる)	小	88.2	89.4	-1.2	—	—	87.0	—
	中	67.5	70.0	-2.5	—	—	65.1	—
理科の授業で学習したことは、将来、役に立つと思いますか (思う、どちらかといえばそう思う)	小	69.6	72.9	-3.3	—	—	72.0	—
	中	47.8	55.7	-7.9	—	—	47.5	—
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか (している、どちらかといえばしている)	小	62.8	67.6	-4.8	59.3	56.8	57.4	57.3
	中	47.4	52.1	-4.7	48.9	48.2	47.2	44.9
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (全くしない)	小	4.1	2.5	1.6	4.6	4.4	3.9	4.5
	中	7.7	4.9	2.8	6.8	7.6	7.8	7.8
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか (全くしない)	小	22.9	18.7	4.2	24.3	24.0	23.5	21.3
	中	42.1	32.9	9.2	42.4	44.0	42.6	39.7

学習に対する関心・意欲等に関する質問項目である「算数・数学、理科の勉強が『好き』『大切』『よく分かる』『役に立つ』」について、半数の質問項目で、前年度より肯定的な回答の割合が上昇している。また、全国平均との比較において、小学校では、算数で「役に立つ」について0.7ポイント上回った以外は0.2～3.8ポイント下回っている。中学校では、数学で「よく分かる」について0.4ポイント上回った以外は、2.5～7.9ポイント下回っており、小学校よりもその差が顕著である。

また、中学校では、約4割の生徒が、学校の授業時間以外に読書をしていない。

## ○規範意識及び生活習慣

質問		奈良県	全国	差	県29	県28	県27	県26
学校のきまり（規則）を守っていますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	86.5	89.5	-3.0	91.1	89.6	89.1	88.6
	中	93.8	95.1	-1.3	93.6	92.8	91.7	90.3
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	96.9	96.8	0.1	96.4	97.0	96.8	96.4
	中	94.4	95.5	-1.1	91.6	92.4	92.6	92.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	95.7	95.2	0.5	93.2	94.3	94.1	94.8
	中	93.7	94.9	-1.2	90.9	91.9	93.0	94.0
朝食を毎日食べていますか (食べている、どちらかといえば食べている)	小	93.4	94.5	-1.1	94.2	94.6	94.5	95.0
	中	89.9	91.9	-2.0	91.1	91.6	91.3	92.1

規範意識に関する質問項目である「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、いずれも小・中学校ともに9割以上の児童生徒が肯定的な回答をしている。また、全国平均との比較において、小学校では、「きまりを守る」で3.0ポイント下回った以外は、0.1～0.5ポイント上回っている。中学校では、全ての項目で1.1～1.3ポイント下回っている。

## ○自尊意識及び社会に対する関心

質問		奈良県	全国	差	県29	県28	県27	県26
自分には、よいところがあると思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	82.6	84.0	-1.4	76.2	74.5	76.2	76.2
	中	75.4	78.8	-3.4	66.7	66.4	64.9	65.5
将来の夢や目標を持っていますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	84.1	85.1	-1.0	84.6	84.5	85.7	85.9
	中	70.3	72.4	-2.1	68.8	68.8	69.5	70.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	58.1	62.7	-4.6	59.5	66.5	65.5	66.6
	中	38.7	45.6	-6.9	35.7	41.2	39.3	39.5

自尊意識についての質問項目である「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」について、肯定的な回答の割合が前年度以上となっている項目が多い。また、全国平均との比較において、小学校では1.0～1.4ポイント、中学校では2.1～3.4ポイント下回っており、中学校において低い傾向が見られる。

社会に対する関心に関する質問項目である「今住んでいる地域の行事に参加していますか」について、全国平均との比較において、小学校では4.6ポイント、中学校では6.9ポイント下回っている。